

令和4年度中小企業事業再生・再チャレンジ支援事業

緊急調査アンケート報告書

〔 令和4年度 第3回 〕

1. 目的 度重なる災害、コロナ禍、戦禍等の影響、諸物価の高騰、円安基調など、全体的な経営環境がなかなか上向かない状況が続くなか、経営対策を講ずるための基礎資料としたい。
2. 調査期間 令和4年10月5日～令和4年10月17日
3. 調査対象 宮古商工会議所会員1,287事業所
4. 調査方法 郵送調査。回収は、郵送、FAX、電話、面談による。
5. 回答状況 初速件数（一週間以内の回答） 345件
最終件数 657件（回答率51.0%）

内訳

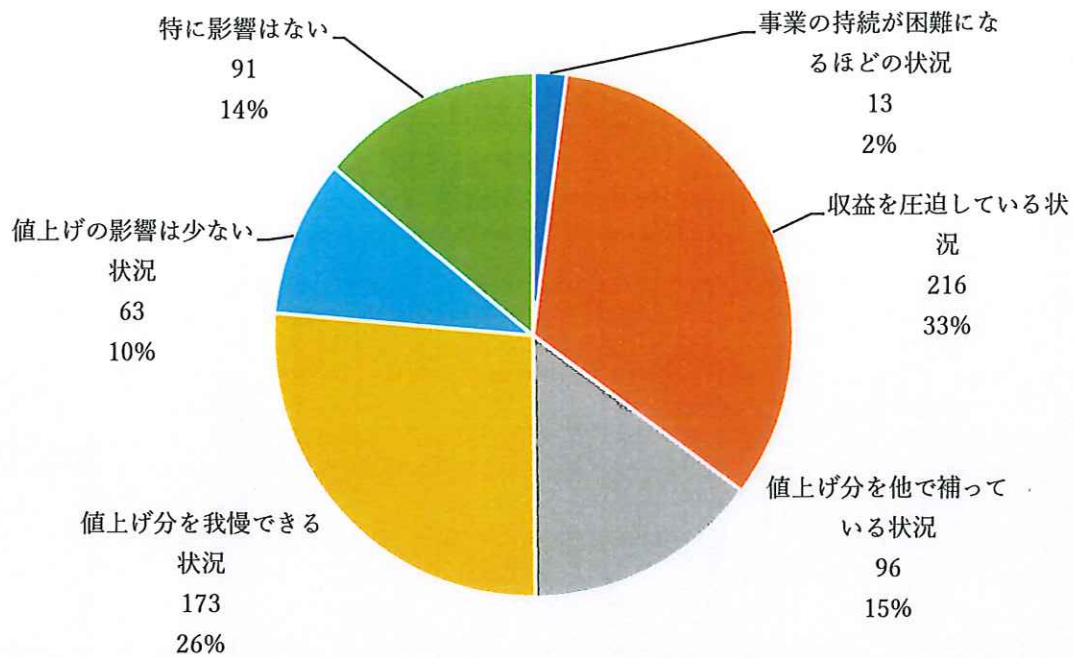
①卸売業	31	②小売業	152	③製造業	73	④建設業	94
⑤運輸業	17	⑥サービス業	91	⑦飲食業	79	⑧理美容業	50
⑨宿泊業	10	⑩その他（不動産農林漁業等）	60				

6. 別添資料 アンケート集計結果

宮古商工会議所経営支援課

【全体】

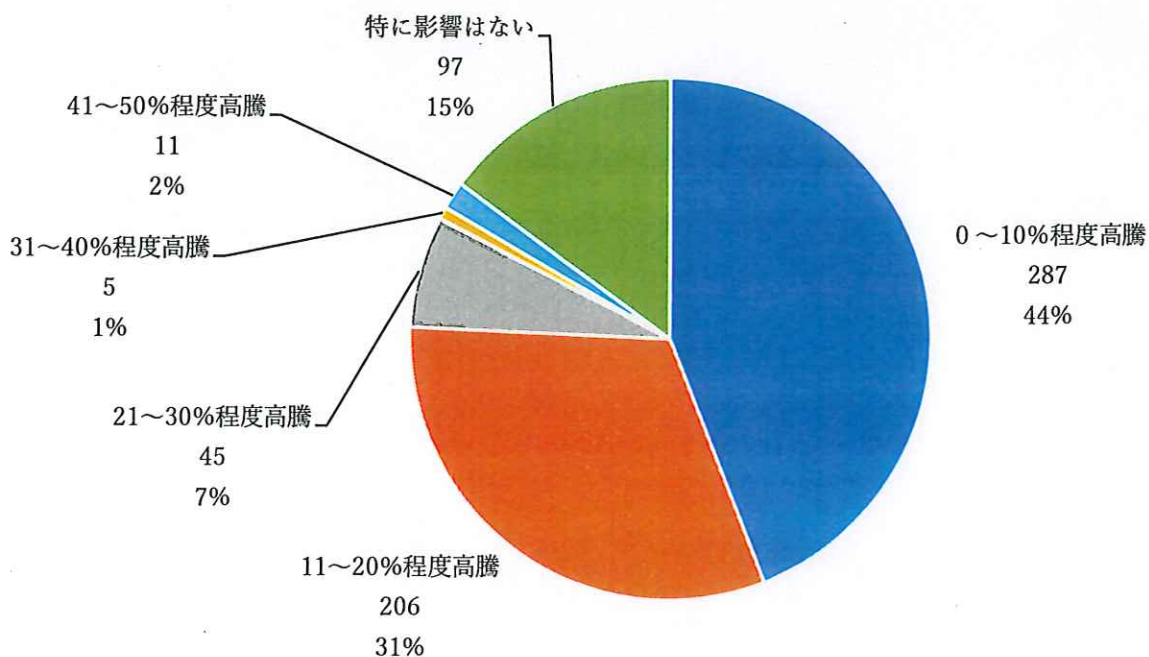
Q1. あなたの会社や仕事に対する「電気・ガスなど光熱費高騰の影響」について、最も近い状況を下記の項目から選択願います。



□回答数 652

最も多かった回答は「収益を圧迫している状況」で、全体の33%であった。

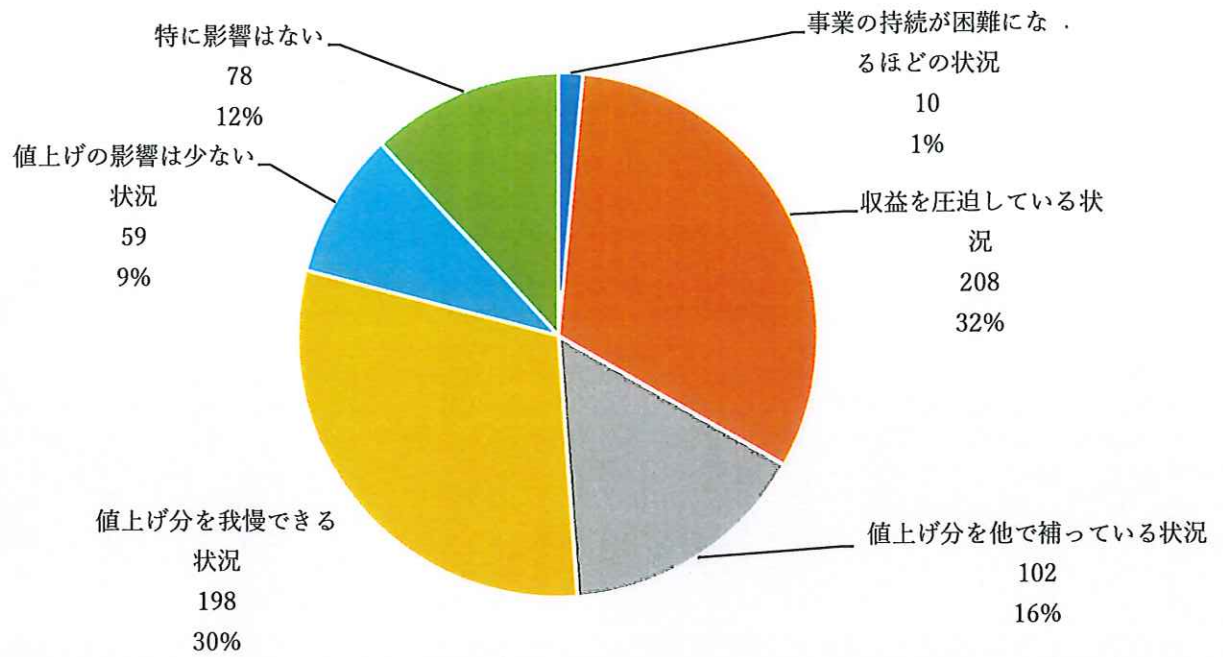
Q2. 本年7月頃と比較して「電気・ガスなど光熱費高騰の影響割合」はどのくらいか、最も近い状況を下記の項目から選択願います。



□回答数 651

0~10%程度の高騰と回答した事業者が最も多く、全体の44%であった。

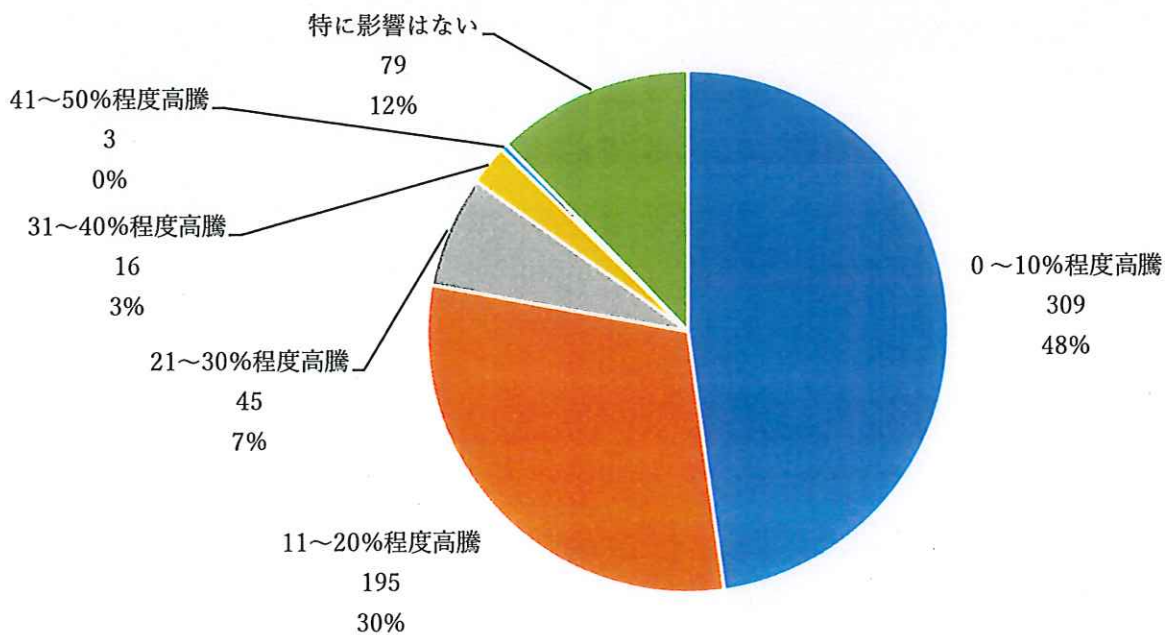
Q3. あなたの会社や仕事に対する「ガソリン代など石油燃料費高騰の影響」について、最も近い状況を下記の項目から選択願います。



□回答数 655

79%もの事業所で、影響を受けている事が分かった。

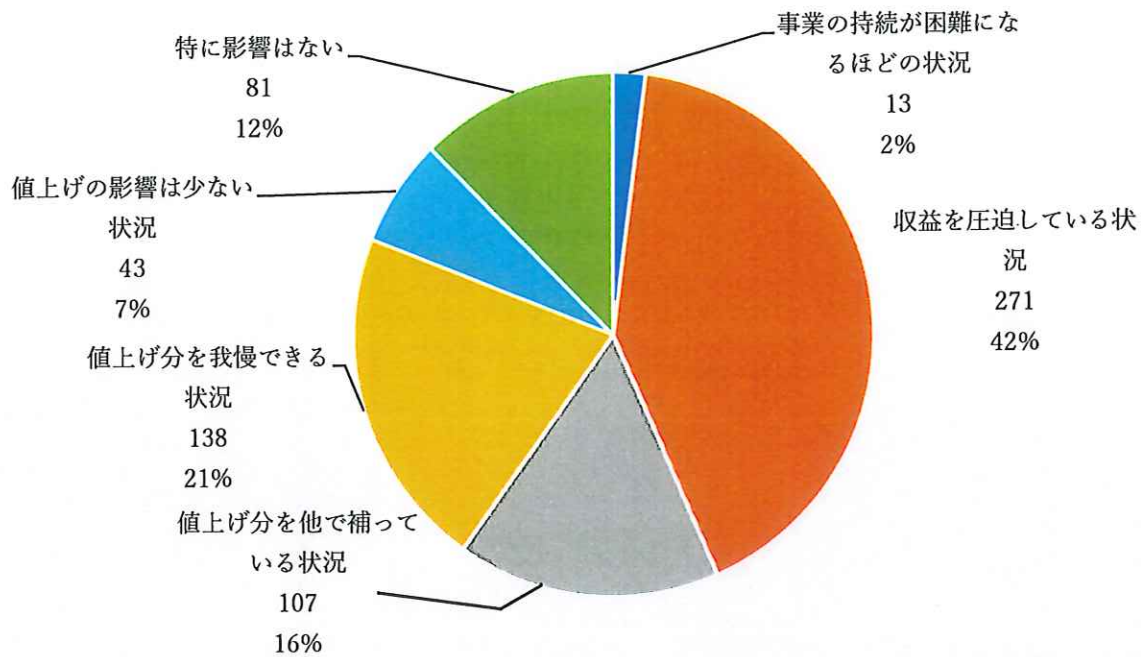
Q4. 本年7月頃と比較して「ガソリン代など石油燃料費高騰の影響割合」はどのくらいか、最も近い状況を下記の項目から選択願います。



□回答数 647

0~10%程度の高騰と回答した事業者が最も多く、全体の48%であった。

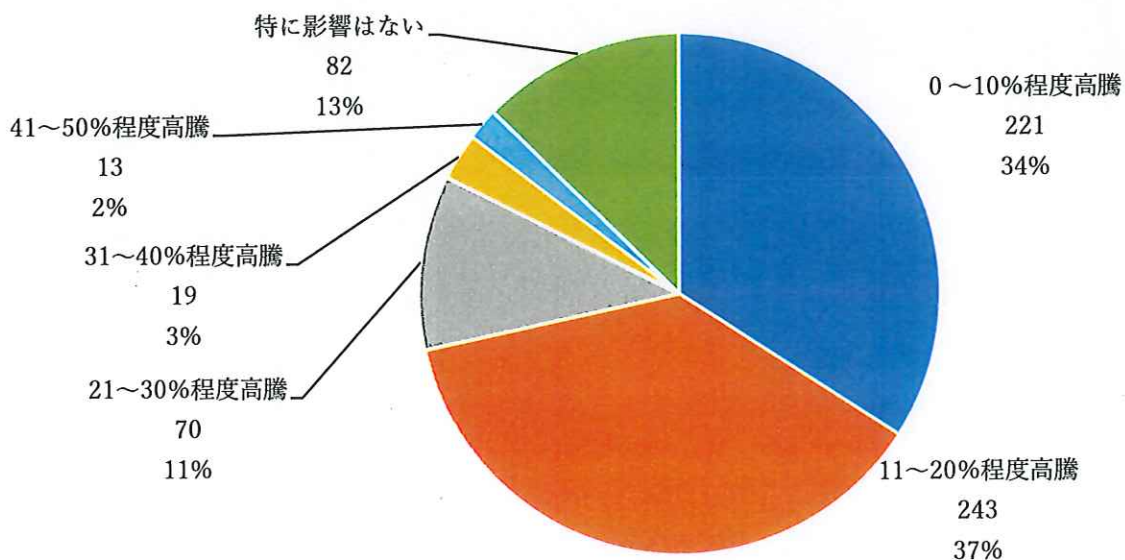
Q5. あなたの会社や仕事に対する「仕入・原材料など諸経費高騰の影響」について、最も近い状況を下記の項目から選択願います。



□回答数653

42%もの事業者が「収益を圧迫している」と回答しており、非常に苦しい状況であることが分かった。

Q6. 本年7月頃と比較して「仕入・原材料など諸経費高騰の影響割合」はどのくらいか、最も近い状況を下記の項目から選択願います。

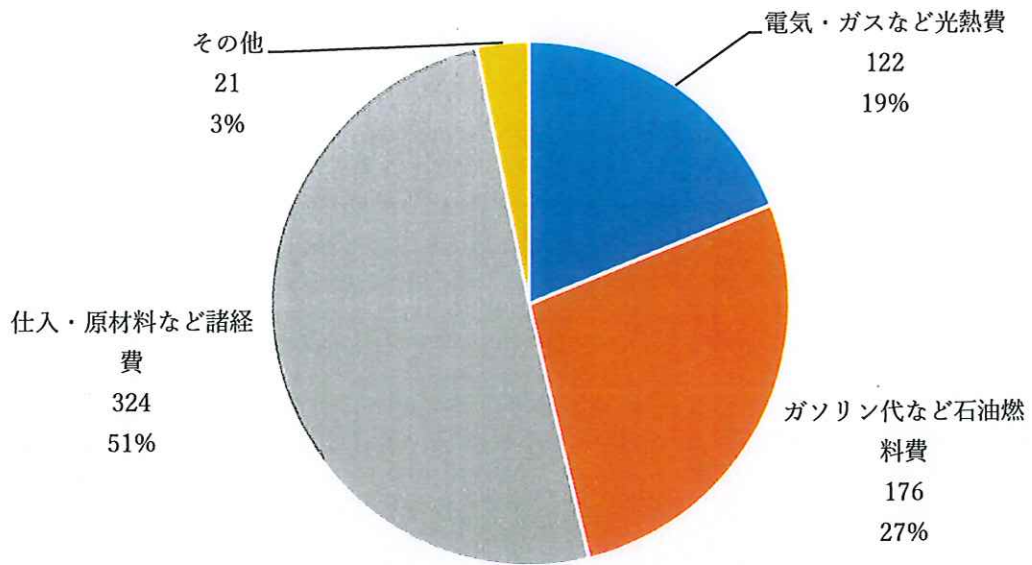


□回答数648

0～10%程度の高騰と回答した事業者が34%

10～20%程度と回答した事業者が37%であった。

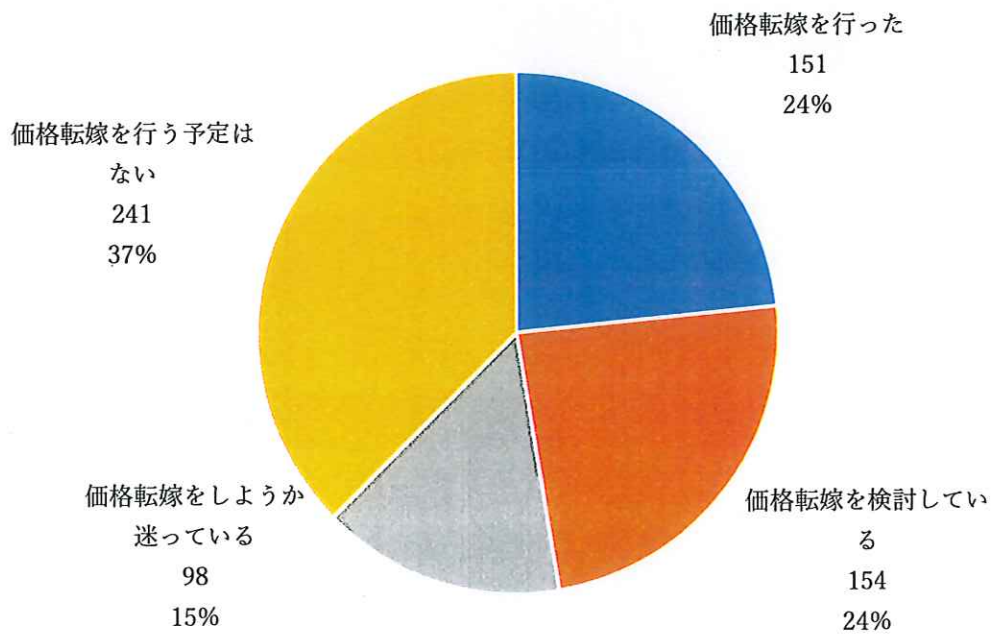
Q7. あなたの会社や仕事に対して「物価高騰の中で最も影響していること」を、下記の項目から1つ選択願います。



□回答数 643

仕入・原材料などの諸経費が高騰したことによる影響が最も重いと回答した事業者が、51%であった。

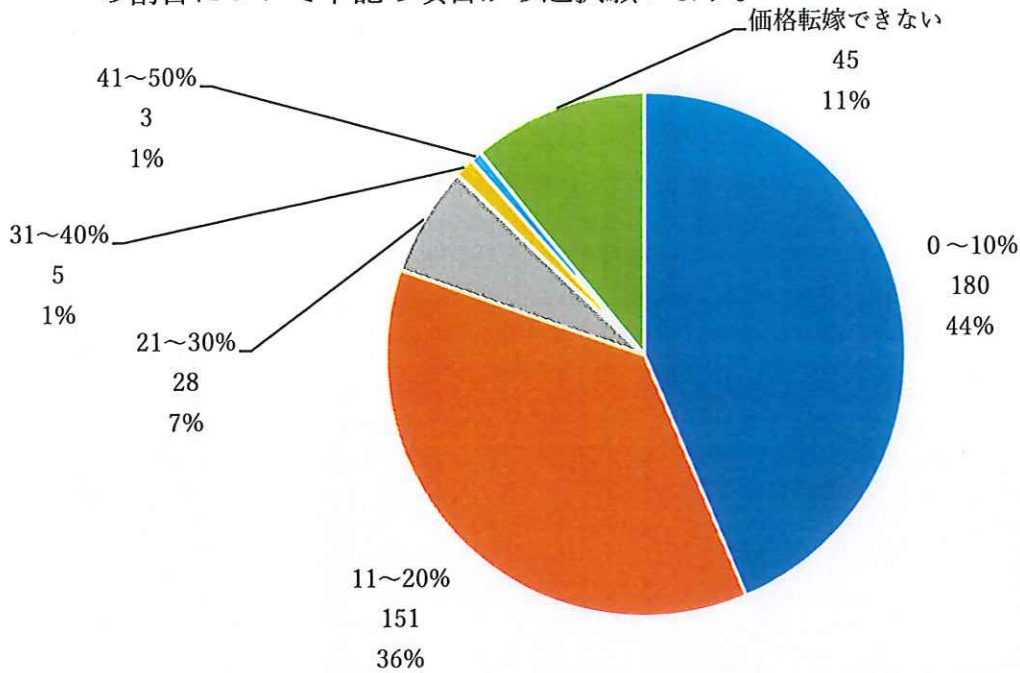
Q8. 「物価高騰に併せた価格転嫁」を行いましたか？または、ご検討されていますか？



□回答数

影響を受けているものの、37%の事業所では価格転嫁を行う予定はない。

Q9. 価格転嫁をした（検討している）又は、価格転嫁を行うとした場合、その割合について下記の項目から選択願います。

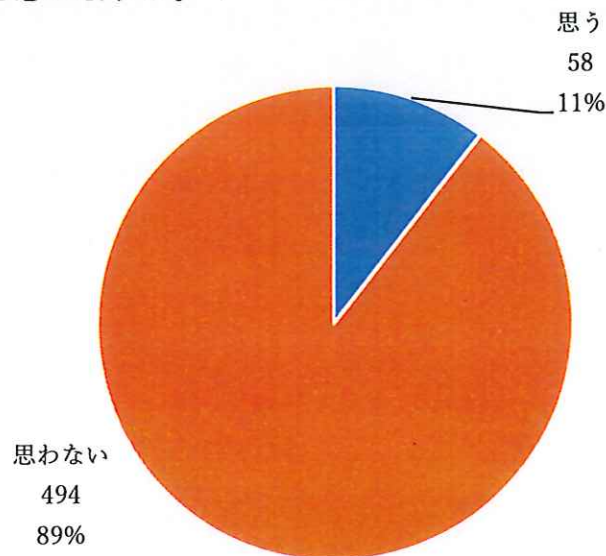


□回答数 412

0~10%を見込む事業所は44%

11~20%を見込む事業所は36%であった。

Q13. 積年の過剰債務など、金融問題の解決に向けて行う事業再生（債務減免）等支援「中小企業事業再生・再チャレンジ支援事業」について、説明を聞いてみたいと思いますか。



□回答数 552

58事業所が説明を聞いてみたいと回答している。